

ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 11.9-10

BRP
BIRTH RACING PROJECT

Race Report



Audi Sport
customer racing



Customer Racing



AMG
MOTORSPORT



Super Taikyu 2019 Series Round-6 / OKAYAMA

(2019.11.9-10)

www.brp.gr.com

ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 11.9-10

BRP
BIRTH RACING PROJECT

BRP はスーパー耐久シリーズ2019第6戦岡山を、ST-TCRクラスのAudi RS3 LMSは予選では、見事ポールポジションを獲得し、決勝もすべての戦略が見事にハマりポールトゥウィンで優勝を飾り、この瞬間に2019年シリーズチャンピオンも確定しました。そしてST-ZクラスのAMG GT4は、順調にレースウィークを進めますが、決勝レース序盤で他車と接触があり、緊急ピットインにより早々に戦線離脱。予選・決勝共に5位でレースを終えました。

【11月7日(木)フリー】 晴/DRY 気温22℃ 路温21～26℃

レースウィークは木曜日からスタートしました。2台共に走り出しからテストメニューをこなし、晴天の中順調にシリーズチャンピオン獲得に期待のレースウィークがスタートしました。

【11月8日(金)フリー】 晴/DRY 気温19～25℃ 路温25℃

決勝・予選のシュミレーションにより、周回を重ねました。2台共にピットインを繰り返し精神的に周回し、シュミレーションとセットアップを進めていきました。



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 11.9-10

BIRTH RACING PROJECT

【11月9日(土)公式予選】 晴/DRY 気温25℃ 路温22℃

公式予選がいよいよ始まりました。予選も晴れてDRYコンディションでの予選となりました。

19号車AudiはAドライバーの太田侑弥選手が、アタックを開始して1'38.936でクラス4位と、好タイムで良いポジションにつきます。続くBドライバーの松本武士選手もアタックし、1'36.767をマークしコースレコードを大幅に更新しながら1位で予選を終了し、A・Bドライバーの合算タイムでもポールポジションを獲得。シリーズチャンピオン獲得に大きな期待がかかる重要なレースを先頭でスタートする事となりました。Cドライバーの篠原拓郎選手も見事に決勝想定燃料とタイヤの状態好タイムを連発してクラス4位で予選を終えました。

190号車AMGはAドライバーの奥村浩一選手がアタックし、1'39.298でクラス5位となり、続くBドライバーの水谷晃選手も果敢にアタックし、Aドライバー奥村選手を凌ぐ1'39.165を記録し合算でクラス5番手から決勝レースを戦う事になりました。Cドライバー山脇 大輔選手も少ない走行時間の中で順調にコースコンディションにも慣れ、無事に予選を終え決勝に向けて準備を整えました。



【第6戦岡山ST-TCRクラス予選結果】

Aドライバー:太田佑弥	コース:DRY	タイヤ:スリック	1'38.936	クラス4位
Bドライバー:松本武士	コース:DRY	タイヤ:スリック	1'36.767	クラス1位 ※コースレコード
Cドライバー:篠原拓朗	コース:DRY	タイヤ:スリック	1'39.050	クラス4位

1位 No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	3'15.703
2位 No.97	Modulo CIVIC	3'15.807
3位 No.45	BRIN・NAUB RS3 LMS	3'16.352
4位 No.75	AZIMUTH CIVIC TCR	3'16.572
5位 No.10	IDI GOLF GTI TCR	3'16.670
6位 No.22	WAIMARAMA KIZUNA Audi RS3 LMS	3'16.801
7位 No.108	冴えカノfineレーシングwithRFC	3'17.271
8位 No.65	Phenomen Mars Audi RS3 LMS	3'17.279
9位 No.501	KCMG Annika CIVIC TCR	1'39.463(ボウノ TIME)

【第6戦岡山ST-Zクラス予選結果】

Aドライバー:奥村 浩一	コース:DRY	タイヤ:スリック	1'39.298	クラス5位
Bドライバー:水谷 晃	コース:DRY	タイヤ:スリック	1'39.165	クラス5位
Cドライバー:山脇 大輔	コース:DRY	タイヤ:レイン	1'40.651	クラス4位

1位 No.2	ケースフロンティア SYNTIUM KTM	3'13.461
2位 No.3	ENDLESS AMG GT4	3'13.803
3位 No.500	5ZIGEN AMG GT4	3'14.504
4位 No.35	モノコレSUN'S TECHNO GINETTA	3'15.498
5位 No.190	BRP★Mercedes AMG GT4	3'18.463



【11月10日(日)決勝】

晴 / DRY スタート時 気温21℃ 路温26度 後半 気温21度 路温24度

【19号車 BRP Audi Mie RS3 LMS 決勝レース経過】

スタートは、Aドライバーの太田選手が担当してスタートしました。レース序盤にクラス3位まで後退しますがトップと同じペースで周回し、しっかり上位と離れる事なく追走して予定の40分のスティントを終えて、Cドライバーの篠原選手に交代します。篠原選手は1分39秒の早いペースで首位の猛追を開始、篠原選手の好走で2位に浮上して、レース残り時間約1時間半でFCYからのSCのタイミングでチェッカードライバーのBドライバー松本選手に交代。首位を奪還し、そのままりスクをヘッジした安定したLAPで後続を大きく引き離れた独走状態となり、最終LAPには190号車とランデブー走行で2台同時にゴールして見事優勝し、シリーズチャンピオンも獲得しました。

【第6戦岡山 ST-TCRクラス決勝レース結果】

1位 No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	104	3:01'34.916
2位 No.501	KCMG Annika CIVIC TCR	104	3:03'01.722
3位 No.22	WAIMARAMA KIZUNA Audi RS3 LMS	104	3:03'05.024
4位 No.75	AZIMUTH CIVIC TCR	103	3:01'54.204
5位 No.97	Modulo CIVIC	103	3:02'02.636
6位 No.45	BRIN・NAUB RS3 LMS	103	3:02'06.072
7位 No.10	IDI GOLF GTI TCR	102	3:01'38.524

以上 順位認定

No.65	Phenomen Mars Audi RS3 LMS	71	2:11'11.461
No.108	冴えカノfineレーシングwithRFC	62	3:02'31.775



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 11.9-10

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【190号車 BRP Mercedes AMG GT4 決勝レース経過】

スタートはBドライバーの水谷選手が務めました。他クラスが入り混じる中序盤で他クラスの車両と接触し、修復の為に緊急ピットインして修理を行いコースに復帰します。復帰後は安定したLAPで周回を重ねて、続くCドライバー山脇選手にタスキを渡します。山脇選手はFCY・SCが導入される荒れたレース展開の中終始安定した走りを見せ、残り約1時間の所でAドライバー奥村選手に交代、完走目指して走り切ります。総合トップが3時間を迎える頃、コース上でクラス首位を走るAudi 19号車とランデブー走行をし、そのまま2台揃ってチェッカーを受けてクラス5位でレースを終えました。

【第6戦岡山ST-Zクラス決勝レース結果】

1位 No.2	ケースフロンティア SYNTIUM KTM	105	3:01'51.277
2位 No.35	モノコレSUN'S TECHNO GINETTA	105	3:02'48.748
3位 No.3	ENDLESS AMG GT4	105	3:02'54.801
4位 No.500	5ZIGEN AMG GT4	104	3:02'58.686
5位 No.190	BRP Mercedes AMG GT4	95	3:01'34.746

【2019年スーパー耐久シリーズランキング】

ST-TCR	19号車	BRP Audi Mie RS3 LMS	シリーズチャンピオン
ST-Z	190号車	BRP Mercedes AMG GT4	3位



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 11.9-10

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【コメント】

ST-TCRクラスに参戦を開始して3年目となる節目の年の最終戦で優勝を飾り、そして悲願であったシリーズチャンピオンを獲得する事ができました。ご支援・ご声援を頂きました皆様に大変永らくお待たせをしておりましたシリーズチャンピオンが獲れた事に、ほっとしております。

日頃、BRPのレース活動に温かいご支援頂いておりますスポンサー各社並びに、熱いご声援を頂いておりますファンの皆様、そして長く共に戦ってくれた戦友であるドライバーとスタッフの皆に心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。190号車AMGはGT4導入初年度のテスト参戦で非常に順調に来季に向けたデータの収集が行えたので、来季はST-TCRへの参戦を終了して、ST-Zへの参戦の準備を進めて参ります。来季も皆様に良い報告ができますようにレース活動を継続する予定でございますので、皆様の引き続きのご支援・ご声援よろしくお願い致します。

株式会社バースモータースポーツ事業部
バースレーシングプロジェクト
代表取締役 奥村 浩一



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 11.9-10



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 11.9-10



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 11.9-10



ST-TCR / ST-Z
#19 / #190

Birth Racing Project

Press release - 2019. 11.9-10



■BRPパートナー企業



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先： office@brp.gr.com



BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com